

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月28日

事業所名：銀河鉄道

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	13	3	<ul style="list-style-type: none"> 定員は適切だが狭く感じる。 活動するうえでは狭いと思う。 広いとは感じないが適切である。広い部屋があると良いと思う。 静養室が適切に置かれていない。 個別の指導を適切に行えるスペースがない。 一人あたりだと少し狭いと思う。子どもの動ける範囲が少ない。 	定員は適切だが、さまざまなニーズに応える上で指導訓練室等の使用方法については考えていきたい。お子さんの活動量に合わせ、人数を分けて活動したり配慮していきたい。
	2	職員の配置数は適切である	13	3	<ul style="list-style-type: none"> 多く配置され、丁寧な支援となっている。 職員数は多い。 活動の振り返りを職員が協働して行うためには、専ら送迎に従事する非常勤職員を配置するなどの工夫が必要。 	職員数については多く配置しており適切である。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	14	2	<ul style="list-style-type: none"> 廊下に物が置いてある。 されているが完全とは言えない部分も感じる。 2階へのアクセスが階段のみであり、身体に障害のある職員の雇用に支障がある。 今後車いすを使用する利用者を受け入れるのであれば、バリアフリーを充実させた方がよい。玄関の段差など 	各クラスとも主たる活動の部屋が一つしかなく集団活動、食事、個別指導など複数の目的で使用されている。ASDの特性のある子に分かりやすい環境ではない。

環境・体制整備	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	13	3	<ul style="list-style-type: none"> ・冷たい水だったりシャワーがなかったりなど心地よく過ごせているとはいえないと思う。 ・毎日清掃し、玩具の消毒、こまめな換気を行っています。 ・シャワー室が欲しい。 ・クラスごとによく考えてくれていると思う。 ・教材等の収納スペースが不十分ため、その日に使用する教材等を廊下に置かざるを得ない。廊下は雑然としていて心地よい環境ではない。防災上も適切とはいえない。 	各居室に収納が少ないため、お子さんの刺激にならるように廊下に収納するものが多い。園庭に出るときに廊下の視覚情報が多くなり気が散ってしまう。収納について改善していきたい。今ある施設をより良いものへとしていくために工夫しながら環境を整備していきたい。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	13	3	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人がより良い支援のために努力していると思う。 ・あしたのチームなどで個別の目標を設定し振り返りを行っている。 	各職員が半期ごとに目標を設定している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	14	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意向により業務を改善しているかどうかは不明である。 	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	14	2	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の評価、保護者の評価を踏まえ、事業所の自己評価がなされているかどうか不明である。 ・支援の質の評価・改善をネットに公開していても、内容について職員が共通の認識を持ち改善のための意志がなければ意味がない。 	ホームページ等で公開している旨を伝えている。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	14	2	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価を行っているようだが、詳細は分からない。 	令和5年度に第三者評価を行った。業務改善につなげていきたい。

業務改善	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・経験年数、職員の特性等を踏まえ個々の将来像を想定し計画的に研修を進める必要がある。 ・年間研修計画による確実な資質の向上が必要である。 ・1日または数日研修のほか、朝の短時間で済む研修を少人数の職員で日数をかけてうまく取り入れている。 	事業計画にて研修計画を立てている。 今後も専門性の向上のため改善をしていきたい。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画の作成はされている。 ・モニタリングと計画の更新も行われている。 	アセスメントは児童発達管理責任者だけでなく担任も同席し行うようにしている。
適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	14	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から提出されたものを使用している。 ・利用者全員には実施されていない。個別検査をする機会を拡充する必要がある。 ・「検査結果の解釈、それを根拠とした支援 (evidence based)」を確立させたい。 	契約時に同じアセスメント表を使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	14	2	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの実践を発達支援の5領域に分類整理し、支援内容表を作成している。それに基づき月案などの計画が立案しているが、個別支援計画は手つかずである。 	令和6年度から変更する点もあるようなのでしっかりと理解しすすめていきたい。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤職員には共有できていない。 	個別支援計画など非常勤職員と情報共有を図っていきたい。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	16	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ムーブメント療法など毎月行っている。 ・毎月クラスごとに話し合いを持っている。 ・責任者、担当者、助言者が月案を立案している。 	

適切な支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	16	0	<ul style="list-style-type: none"> 案を出し合い新しいものを取り入れるようにしている。 午後の時間の過ごし方など、さらに工夫が必要である。 毎回子どもたちに合った計画を立て、新しい内容は次年度の年間計画に追加し、新しい支援内容表を作っている。 	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	14	2	<ul style="list-style-type: none"> すべて計画を作成しているか分からないが、個別や集団の活動は行っている。 個別の活動が十分に保障できていない。 	"令和6年度は個別支援プログラムの掲載をしていく。"
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	15	1	<ul style="list-style-type: none"> クラス間で話し合い、情報共有し、支援につなげている。 全体の打ち合わせはルーチンとして行っている。 	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	14	2	<ul style="list-style-type: none"> クラス間で話し合い、情報共有し、支援につなげている。 送迎車（バス）に乗務する職員があり、その日の振り返り協働して行えない環境である。 	送迎車（バス）に乗務する職員があり、その日の振り返り協働して行えない環境なので改善策を考えていきたい。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	15	1	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画とクラスの月案と記録を一体とした記録用紙の様式を定め、支援の検証、改善につながるよう工夫している。 	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	15	1	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に実施できている。 	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	15	1		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	15	1	関係機関との連携が少しずつ進んでいる。	

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	14	2	連携が十分かどうかは不明である。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・会議や話し合いの場を設け、情報共有することで、安心安全に過ごせるように心がけている。SW など必要なやり取りを行っている。 ・体制を確立しているわけではないが、連携（連絡）はとって行っている。 ・主治医の指示書を求めて実施することとしている。 ・嘱託医を含めた体制を構築する必要がある 	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に実施できている様子。 	保育所等訪問支援や情報交換会等で相互理解を図っている。今後も必要な機会を作っていきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育課さんと連絡をとっていると思う。 ・計画的に実施できている様子。 	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・交換研修を行っている。 ・詳しくわからない。 ・少しずつ進めている様子。 ・発達障害者支援センターとのつながりはない。 	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接するかいたく保育園の園庭で遊んでいる。 ・八街かいたく保育園の友達と同じ園庭で過ごしている。 ・園庭遊びでは、保育園の幼児と同じ場で活動している。 ・交流の機会をあえて設定していることはない。 	令和5年度はインクルージョンの推進のため隣接している保育園や乳児院とイベントを企画したり関わる機会を作った。

関係機関や保護者との連携	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	15	1		こども部会、そうだん部会に参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳を通じて、様子を伝えあっている。 ・モニタリングの機会に発達の課題等を確認している。" 	連絡帳や公式LINE、電話等で日ごろから連絡を密に取れるよう心掛けている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	13	3	<ul style="list-style-type: none"> ・すべてではないが、個別の相談などには対応していると思う。 ・ぽっぼやの際に結果として保護者支援となっている取り組み(LSF作成)がある。 ・ペアレントトレーニングは実施していない ・家族支援プログラムとしては行えていない。プログラムとして行っていかなければならない。 	毎月親子教室としてぽっぼや教室という日を設定している。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧かどうかは不明である。 	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	15	1		理解していただけるよう契約時にお伝えしている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ぽっぼやの実施、公式LINEでの情報交換など複数のチャネルを通して行っている。 ・送迎の際に保護者との話を毎回行っている。保護者も職員と話しやすい感じである。 	

35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	13	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼっぼやなどで保護者同士の交流が行われている。 ・ぼっぼや教室で保護者同士の交流会を行った。(コロナが5類になったことで) ・コロナでできなかったことがある。 ・少しずつイベント的に保護者が交流できるイベントが行えていると思う。 ・父母の会は組織されていない。 ・コロナ明け間もないため、保護者同士の連携支援はできていない。 	ぼっぼや教室でライフサポートフィル書こう会やご家族参加のイベントを再開できた年だった。
36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	15	1	相談の体制はあるが、周知されているかどうかは不明である。	保護者からの相談等は公式 LINE や連絡帳が多く記録が必要であればケースで残しておくように周知している。
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	15	1		毎月20日に広報紙を配付している。
38	個人情報の取扱いに十分注意している	14	2	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者の入る執務室に個人情報が無造作に置かれていることがある。 ・コンピュータのディスプレイがつけっぱなしの時がある。 	
39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	14	2	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への伝達については、構造化や視覚支援が十分とはいえない。 ・特性のある保護者への対応は職員個々に任されている。 	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	14	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼっぼや教室開催 ・地域を入れたイベントはないが、今後できれば良いと思う。 	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	12	4	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に周知しているのか分からない。 保護者への周知は不十分か。 	保護者への周知は不十分なので各種マニュアルや年間避難訓練計画についてお知らせしていきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	15	1	<ul style="list-style-type: none"> 今年度訓練は定期的実施したが、利用者の実態を踏まえた有効な訓練となっているかどうか検証と改善が必要。 もう少し訓練内容を現実的に考えて行ってもよいのではないかと思う。 	今年度訓練は定期的実施したが、利用者の実態を踏まえた有効な訓練となっているかどうか検証と改善が必要。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	15	1	<ul style="list-style-type: none"> 利用開始時に確認 	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	15	1	<ul style="list-style-type: none"> 利用開始時に確認 	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12	4	<ul style="list-style-type: none"> 事例集は作成されていない。 事例集の作成はできていない。 	書式やヒヤリハットの必要性について委員会でも検討していきたい。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	15	1	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に行っており、話し合う場を設けている。 研修の時間を確保し、計画的に実施した。 	委員会の会議の実施、研修の実施をしている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	15	1	<ul style="list-style-type: none"> 適正化マニュアル、実施規定等を作成した。 個別支援計画に記載し保護者の了解を得ることとしている。 	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。